

昔、中学校があった敷地の一部を利用してもらっている。  
 標高900mのすずしいところで、広さは牧場と小屋の両方合わせて  
 100坪くらい。自宅は牧場から2kmくらい離れた場所にある。

# ぼくじょう 牧場は どんなの？



## うんどう 運動スペース

ここで毎日、運動・調教  
 をする。小屋とつなが  
 っていて、夜も自由に  
 走ることができる。地  
 面には川砂が敷かれて  
 いる



## ふんおぼ 糞置き場

小屋に敷いていたおがくずや  
 ワラと一緒に混ぜる。時々切  
 り返しをして、1年後に完  
 熟堆肥になったら畑に利用



いる葉ちゃんも、糞そ  
 じのお手伝い

## さいきよせい ビンゴ 11歳 (去勢したオス)



人間でいうと44歳くらい。  
 おとなしいけど、やる時は  
 やる！ ガッツのあるはた  
 らきもの(馬の調教でお世  
 話になった師匠の紹介で、  
 若手からやって来た)



# たがや うま 耕す馬

家畜を飼う生活って、どんなの？  
 飼ってる人に聞いてみましょう！

よいしょっ、よいしょっ  
 がんばるぞ〜！

## おだ 穏やかな性格で とっても力持ち！



教えてくれる人 ● 横山晴樹さん、  
 紀子さん、いる葉ちゃん(2歳)

7年前に長野県伊那市高遠町に移住。「馬との  
 暮らし、自然を、人を大切に」という思いをモ  
 ットーに、馬と共に暮らし、馬で畑を耕し  
 ながら自給自足を目指す暮らしを実践している。

20代のころ、海外37カ国を放浪  
 した晴樹さん。馬と共にくらす  
 生活に触れ、「いいな！」と思い、  
 「日本に戻ったら米をつくりなが  
 ら馬とくらしたい」と決めた。で  
 も、トラクタなら数十分で終わる  
 代かき作業も、馬でとなると半日  
 がかり。大変じゃないのかな……。  
 「確かに手間はかかるけど、馬  
 と呼吸があったときは最高に気持  
 ちがいい！それに、苦労したぶ  
 ん、収穫したお米を食べるときは  
 理屈なしで『いただきます』って  
 感謝の気持ちでいっぱい。お馬さ  
 んと一緒につくったお米は本当に  
 おいしい」と横山さん夫婦。  
 ガソリンで動く機械とちがいで、  
 馬は草をエネルギーにしてはたら  
 いてくれて、糞は肥料になる。循  
 環して無駄のない暮らし。もし石  
 油が枯渇しても、田んぼの作業が  
 滞ることはない。馬耕は古い時代  
 に後戻りしているようにみえて、  
 じつはこれからの時代のお手本に  
 なっていくのかもしれない。